

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	統括部局：教務機構	担当部局：教務機構
大項目	6 教育内容・方法・成果 《全学的な視点》	
中項目	6.4 成果	
小項目	6.4.1 教育目標に沿った成果が上がっているか。	
要素	学生の学習成果を測定するための評価指標の開発とその適用 学生の自己評価、卒業後の評価（就職先の評価、卒業生評価）	
小項目	6.4.2 学位授与（卒業・修了判定）は適切に行われているか。	
要素	学位授与基準、学位授与手続きの適切性 学位審査および修了認定の客観性・厳格性を確保する方策（院）（専門）	

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 学生の学習を振り返ることのできるシステムをICTを活用して開発する。	→学習管理システムの構築	C	C	B	B	/
2. 学生の学習成果を測定できるシステムをICTを活用して開発する。	→成果測定システムの構築	C	C	C	C	/
		☆				
2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	2010年9月より学習支援システムとしてLearning Management System(LMS)を導入し、教員からの教材提示・連絡、学生からの課題提出と質問、学生間の学修コミュニティの構築などに利用している。なお、LMSは稼働後の全ての教材や提出物などを保存しており、学生はLMSを通じて行った学習履歴を常に振り返ることができる。また、教職教育研究センター、および、教育学部では、LMSを教職ポートフォリオとして活用しており、グローバル人材育成事業においては、別途、専用ポートフォリオのシステム開発を行っている。導入段階においては、汎用的なポートフォリオでは学生の動機付けが難しいため、目的に適った複数のポートフォリオを活用することが実用的である。将来的にはこれらを連携させて活用する必要がある。
目標2	学習成果を測定するシステムを開発するには、評価を行うための前提となる指標を整備することが必要であり、2011年度に指標となる学位授与方針(=DP)やカリキュラムマップを設定した。今後、学習到達度自己評価システムの構築について検討を行っている必要があるが、現在のところあまり進捗していない。
備考	